

2021年9月15日

ENEOSホールディングス株式会社

次世代のヘルスケアサービス提供に向けた協業開始について ～ネクイノと共同開発した「スマートライフボックス」を使用し、実証実験を開始します～

当社（社長：大田 勝幸）は、次世代のヘルスケアサービス提供に向け、株式会社ネクイノ（社長：石井 健一、以下「ネクイノ」）に出資し、協業を開始しましたので、お知らせいたします。本日より、両社で共同開発した専用無人ブース「スマートライフボックス」を使用したヘルスケアサービスの実証実験を実施いたします。

本実証では、三井不動産株式会社（以下「三井不動産」）がららぽーと柏の葉（千葉県柏市）でリニューアルオープンした『まちの健康研究所「あ・し・た」』※内に、「スマートライフボックス」を設置し、地域の皆様に無料でご利用いただける、医療専門家とのオンライン健康相談サービスを提供いたします。

「スマートライフボックス」は、プライバシーと消毒除菌機器による清潔さが保たれており、室内に設置された検査機器による様々なバイタルデータの計測と、そのデータを共に参照できる医療専門家とビデオ通信によるコミュニケーションが可能となっています。

当社は、グループ長期ビジョンにおいて、お客様が望む利便性の高いサービスをトータルで提供するENEOSプラットフォームの構築を目指しております。ヘルスケア分野においては、プラットフォームが提供するライフサポートサービスの一つとして、各地域の特色や医療アクセスを考慮したサービスの検討を進めてまいりました。本実証は、ENEOSプラットフォームにおけるヘルスケアサービスの第一弾の取り組みとなります。

今般協業を開始したネクイノは、オンライン診察でピルを処方するアプリ「スマルナ」を運営するスタートアップ企業です。当社は、ネクイノがもつオンライン診察のノウハウを活用し、各種ヘルスケアサービスを自宅以外の生活圏内の場所で提供すべく、「スマートライフボックス」を同社と共同開発しました。両社の協業により、利用しやすく質の高いヘルスケアサービスの展開拡大を目指します。

「スマートライフボックス」は、ネクイノが知見をもつ女性を対象とした健康相談サービスから提供を開始し、2022年3月末まで段階的に、対象拡大と提供するサービスの内容拡充を図ります。

また、将来的に「スマートライフボックス」は、地域の皆様の生活を支える新しいライフサポートサービスとして、自治体や企業など様々な場所への設置や、SSネットワークを活かしたENEOSならではの利便性の高いサービスの事業化を検討してまいります。

当社は、本サービスを始めとしたお客様が望む利便性の高いサービスを積極的に導入することによりENEOSプラットフォームの付加価値を高め、持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）の目標3「すべての人に健康と福祉を」、目標9「産業と技術革新の基礎をつくろう」および目標11「すみ続けられるまちづくりを」に貢献してまいります。

※まちの健康研究所「あ・し・た」

<https://www.ast-lab.jp/>

<実証実験の概要>

| | |
|------|---|
| 目的 | 次世代のヘルスケアサービス提供の場を体験いただくことに加え、利用者の声をいかした更なるサービスを開発すること。 |
| 期間 | 2021年9月15日～2022年3月末 |
| 実施場所 | まちの健康研究所「あ・し・た」（ららぽーと柏の葉内） |
| 実施内容 | 「スマートライフボックス」内でバイタルデータの測定を実施し、医療専門家とのオンライン健康相談サービスを提供する。健康課題に応じて、地域の医療機関への適切な受診についてアドバイスする。 |

<スマートライフボックスイメージ>



利用方法：専用アプリを通じて、本人確認と使用予約を行っていただきます。

詳細は特設サイト（<https://smartlifebox.com/>）をご覧ください。

※室内には消毒除菌機器を備えており、清潔さを保ちます。

以上